



鍼灸学科アドバンスコース最後の中国実習

教務部 中村典子



鍼灸学科2年生アドバンスコースは11月26日～12月7日まで、天津中医薬大学第一附属病院にて実習を行いました。実習内容は、病院での鍼灸外来と入院病棟の見学、

手技療法・美容鍼灸・推拿についての受講、さらに解剖実習等です。

病院では鍼灸師が中医（医師）として中心となり活躍し、30室もの鍼灸院が連なっているような外来にはいずれも患者さんがあふれ、病棟では急性の脳血管障害に対して鍼灸治療を中心に入院措置が施されていました。さらに太い中国鍼を痛みなく刺入し、1cmの刺入深度の中でドラマを起こす技術などを学び、日本での鍼灸治療との違いに学生はもちろん私も衝撃を受けました。また、解剖実習ではご遺体を一から解剖させていただき大変勉強になりました。

休日には天津市内やオリンピックの熱気が残る北京市内観光、また万里の長城に登ったりと、中国の古から現代までを味わうことができました。

最後にお世話になった先生方をお迎えしてのサンクスパーティでは「皆さん賢い。質問も答え方も的確で、とても勉強しているのがわかる」と病院の先生はもちろん通訳の方も感じてくださったと聞き、大変嬉しく思いました。

アドバンスコースとしての中国実習は今回が最後となります。鍼灸師のたまごである学生の皆さんにとって中国の医療現場を体験することはもちろん、改めて日本の文化や医療、特に鍼灸について自らの考えを見つめなおすとともに、クラスメイト同士が互いに思いやり協力し合うなど、かけがえのない体験となったことと思います。最後になりましたが、熱心に指導してくださった天津中医薬大学第一附属病院の先生方をはじめ、通訳、留学生・研修生の方々、さらに日本から支えていただいた関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



2008文化祭 緑の風まつり ～秋晴れの下、盛り上がった1日となりました～

学生会・柔道整復学科アドバンスコース1年 嵯峨山綾子

2008年11月2日（祝）、さわやかな秋晴れの下、恒例の文化祭を開催しました。33回目となる今回は、新たに『緑の風まつり』と命名し、創立以来変わらぬ“地域への還元”をコンセプトにさまざまな催しを企画しました。

当日は、校長の安雲先生より開会宣言をうけ、アネックス校舎では剣道部・空手部・合気道部による演舞に続き、柔道整復学科1年アドバンスコースがソーラン節を披露するなど華やかにスタートしました。

今回も、アネックス校舎には各クラスにより、焼き鳥・ステーキ・たこせん、手作り餃子等、さまざまな模擬店が出店され、いずれも長蛇の列ができ、開始後2時間で品切れとなることも出たほどでした。また恒例の竹下イキ子



先生手作りのおはぎ、柔道整復学科の先生方による焼きそばにも品切れ御免まで列が途切れることがありませんでした。またDJバー、くじ引き、バルーンアート、さらにメインイベントとして招い

た、大阪を中心に活躍しているエンターテイメントバンド『なにもあれプラスバイキング』、女性マジシャン『AYA』の軽快なおしゃべりと神秘的なマジックには大いに盛り上がりました。

最後の締めくくりの『ハズレなしBIGビンゴ大会』には、松坂牛や黒毛和牛といった豪華賞品を目指して多くの方々が集まり、数字が読み上げられるたびに歓声が湧き起こりました。

今年もこの文化祭を通して、学生同士、先生方、そして地域の皆さんと日常とはちがった交流ができたように思います。

来年度は学生会として盲導犬と目の不自由な方々の世界観を皆様に知っていただきたいと思っています。当日は触れ合いコーナーやグッズ販売など盲導犬を育てるチャリティイベントにぜひご参加ください。

最後になりましたが、文化祭開催あたり実行委員となって尽力くださった学生の皆さんをはじめ、先生方には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

